



こしんでん

令和4年9月15日発行

— 学校評価号 —

浅羽東小学校のHP <https://asabahigashi-e.fukuroi.ed.jp>

学校メールアドレス asahigashi-s@fukuroi.ed.jp



令和4年度東小重点目標【自分も相手も大切にする子】

学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。

厳しい暑さも一段落し、少しずつですが季節が移り変わってきていることを感じます。2学期に入って1か月程が経ち、子どもたちは自分が立てた目標や学級目標の達成に向けて頑張っています。2学期は行事が多く計画されていますので、そこでの子どもたちの活躍も楽しみです。

さて、今回は保護者の皆様に御協力いただきました学校評価アンケートの結果を報告させていただきます。この結果を校内で分析、共有して、今後の対応について話し合いをしました。2学期以降の学校教育に生かしていきたいと思っております。御協力ありがとうございました。

学校評価アンケート結果

1「あてはまる」 2「どちらかと言えばあてはまる」 3「どちらかと言えばあてはまらない」 4「あてはまらない」

		Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16
		学校が楽しい	みんなが楽しく遊ぶ	主体的に取り組む	授業がよく分かる	自分はあるよ	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていく	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる	先生が信頼できる
児童	1	55.0	68.4	53.8	49.8	49.8	55.6	43.2	65.0	56.2	52.9	59.9	51.4	55.9	50.2	64.8	75.4
	2	34.0	22.8	31.6	32.8	36.8	20.7	25.5	22.2	30.4	32.2	23.1	29.2	34.3	29.8	25.4	21.6
	3	7.6	5.5	11.6	11.2	8.2	10.3	13.7	8.2	7.9	8.5	7.6	11.2	5.5	13.7	9.8	2.1
	4	3.3	3.3	3.0	6.1	5.2	13.4	17.6	4.6	5.5	6.4	9.4	8.2	4.3	6.4	0.0	0.9
保護者	1	45.1	64.0	26.6	20.5	38.7	31.6	37.0	37.4			26.6		31.0	18.5	35.4	70.4
	2	44.4	30.3	47.5	55.9	49.8	48.8	45.5	50.5			51.9		56.2	28.6	35.0	25.9
	3	7.7	4.7	21.5	19.5	9.8	16.8	14.1	10.1			17.2		10.4	32.7	23.2	3.4
	4	2.7	1.0	4.4	4.0	1.7	2.7	3.4	2.0			4.4		2.4	20.2	6.4	0.3
教師	1	16.7	70.8	20.8	4.2	16.7			20.8			17.4		4.2	25.0	37.5	50.0
	2	79.2	29.2	70.8	75.0	62.5			79.2			69.6		79.2	54.2	58.3	41.7
	3	4.2	0.0	8.3	20.8	20.8			0.0			13.0		12.5	20.8	4.2	4.2
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0			0.0		4.2	0.0	0.0	4.2

子どもたちの結果をみると、1「あてはまる」、2「どちらかと言えばあてはまる」という肯定的な回答割合が、どの質問項目においても高い結果となりました。今後は、2と回答している子どもが1と回答することができるように、本年度の重点目標である「自分も相手も大切にする子」の育成に向けて、一人一人に寄り添った、よりよい教育活動の実現を目指していきます。

また、子どもたちと保護者の皆様との回答割合の差が、特に授業に関する項目で開きがありました。子どもたちが「分かった」「できた」と感じていても、実際にはその「つもり」になっている場合があるかもしれません。あるいは、保護者の皆様がお子さんの学習定着度合いを確認する機会が

少なく、しっかりとお子さんの実態が分からないということもあるかもしれません。学校では、引き続き子どもたちの主体的・対話的で深い学びに繋がるよう、日々授業改善に努めてまいります。加えて、学校での学びと家庭学習とを上手く連動させ、効果的な学びのサイクルが実現できるよう、お子さんと一緒に家庭でも学びを確認していただけたらと考えております。

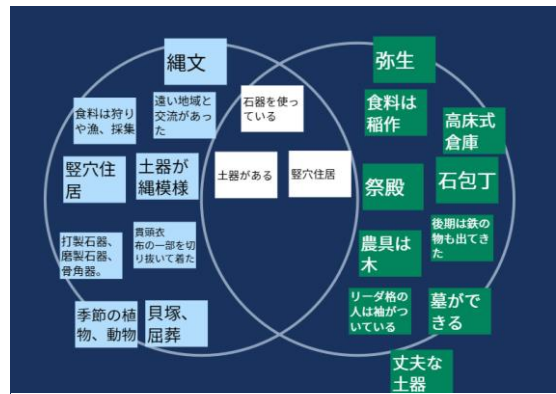
次に、3つの部（知育部、徳育部、体育部）に関する質問項目の結果について詳しくお伝えします。

①知育部 キーワード「ともに学び、高め合う授業づくり」

項目・「I あてはまる」	目標値	I 学期児童
授業がよく分かる。	50%	49.8%
授業に主体的に取り組んでいる。	50%	53.8%
教師は思考ツールを活用した授業実践を行っている。	100%	教師33.3%
教師はICTを活用した授業を行っている。	100%	教師70.8%

「授業がよく分かる」と「授業を主体的に取り組んでいる」の項目は、おおむね目標値に達することができました。今後は、学校で学んだことを定着させるためにも、家庭学習の充実を図っていきます。

具体的には、月例テストの範囲発表を15日（基準日）とします。I 学期よりも準備期間ができるため、余裕をもって、計画的に学習を進めることができます。また、国語・算数ともに学んだことを活用した問題を1問ずつ出題することで、生きて働く知識・理解の定着も図っていきます。



6年社会「思考ツール」の活用

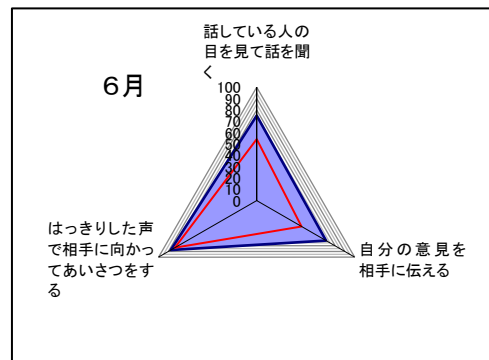
他に、学校では、日常的に ICT 機器を活用した授業を行っていますが、今後は、上記のような思考ツールを活用して、自分の考えや仲間の考えを可視化して、より主体的・対話的で深い学びの実現を目指していきます。

②徳育部 キーワード「ともに認め合える仲間づくり」

項目・「I あてはまる」	目標値	I 学期児童
学校が楽しい。	55%	55.0%
自分にはよいところがある。	60%	49.8%
みんなのために活動できた。	60%	55.9%
信頼できる先生がいる。	70%	65.0%

「学校が楽しい」の項目については、目標値に達することができました。ただ、学校生活を肯定的に受けとめていても、「自分にはよいところがある」や「みんなのために活動できた」の回答結果から、自己肯定感や自己有用感をさらに醸成させていく必要性があると感じています。

そこで、本年度も学級力アップの日を設定して、居心地のよい学級づくりに努めていきます。毎月1回、学級目標が達成されているかどうか、また課題は何かを振り返りながら、レ



学級力アップ作戦 6年リーダーチャート

ーダーチャートを作成し、前回の結果と比較することで、改善点や改善方法をみんなで考えていきます。

加えて、2学期は運動会や古新田集会などの行事や校外学習と、子どもたちが普段以上に主体的に取り組める機会が多くあります。それぞれの行事や活動を通して、達成感や満足感を得られるよう、行事当日までの準備や過程も大切にしながら、一人一人に寄り添って指導・支援していきます。

③体育部 キーワード「健やかな心と体づくり」

項目・「I あてはまる」	目標値	I 学期児童
進んで運動に取り組むことができる。	50%	64.8%
新しい生活様式を心掛けて生活できた。	50%	75.4%

どちらの項目とも目標値を上回る結果でした。「進んで運動に取り組む」では、1学期は全校でドッジボールラリーに挑戦しました。学級で目標をもって取り組むことができるよう、廊下に記録を随時掲示することで、子どもたちが主体的に取り組むことにつながったと思います。2学期は全校で長縄跳びに取り組む予定です。そこでも運動に親しむと同時に、仲間と体を動かす楽しさや、粘り強くあきらめない心を育み、②の徳育部にある「自己肯定感」や「自己有用感」の醸成にもつながることを期待しています。

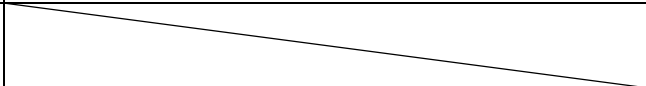
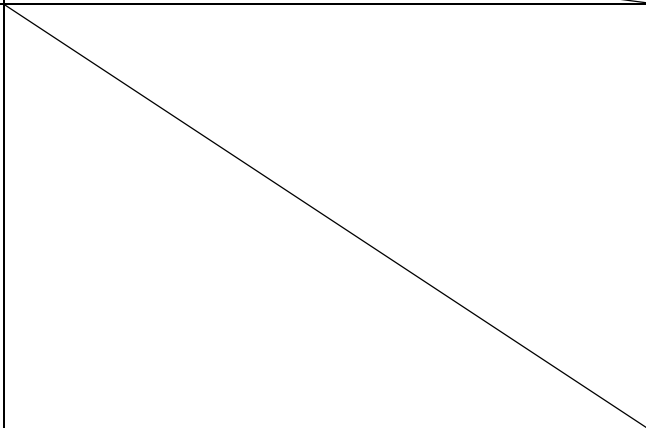


5年生と2年生の交流遊び

保護者アンケートの自由記述より

様々な御意見をいただきありがとうございました。いただいた御意見を抜粋して紹介し、対応等の改善点をお伝えします。

ke 御意見	対策等
学校に行く頻度が減っている状況の中で、もう少し日々の様子のわかるようなプリントがあったりしたら、家でも話をしやすくなります。	紙媒体での配付は、ICT の活用、資源保護の点から、必要最小限にとどめるようにしています。 行事や日々の活動における子どもたちの様子については、ホームページの「ブログ」に掲載しています。ほぼ毎日更新していますので、御覧いただければと思います。
タブレットが重すぎて朝帰りが大変な思いをしている。教科書やノートを学校に置いていくようにする、または充電 50%になった人は持って帰るなどにしてほしい。荷物が重くて、そのうえ暑くて、帰ってくるのが毎日見ていると可哀想です。	タブレットの持ち帰りに伴い、学校に置いていったよい物を増やしました。基本的には国語、算数以外の教科書やノート等は学校で保管しています。そのことは、子どもたちにも伝えていきます。いつ持ち帰るのか、全校で改めて共通理解していきます。
登下校のマスク非着用を徹底してください。子供の発育の為に日常生活でのマスク非着用できる場面を増やしてください。	7月14日付の文書にてお伝えしましたが、登下校時や体育等で運動する際には、積極的にマスクを外すことを呼び掛けています。感染状況によりませんが、今後は厚生労働省等の指針も出されたので、非着用の場面が増えてくると考えています。 ただし、基礎疾患等によって、マスクを着用したい子どももいますので、非着用の強制はできません。御了承ください。

<p>我々の子供時代と比べ、現在の義務教育の難しさを親ながら痛感しております。学業は元より、集団生活に於ける人間関係など、現在は情報社会が進んでおりますので、要らぬ情報が簡単に検索出来る時代です。そういった中で、やっていい事悪い事の区別で『何故か』の部分为重点に置いていただけますと幸いです。</p>	<p>子どもたちは、学校生活を送る中で失敗を繰り返しながら少しずつ成長していきます。その中で、子どもたちの納得感は非常に重要であると考えます。「なぜよいか」「なぜだめなのか」、表面的な指導だけで終わらないよう、発達段階に応じて子どもが納得できる言葉がけをしていきます。最終的には、自ら考え判断できる子どもの育成を目指します。</p>
<p>字を書くことを面倒くさがる傾向があります。本読みカード、予定帳は自分が読むためだけに書くという意識だと雑に書くため先生が読むから親が見るから丁寧に書く。を意識して書かせています。常に書くことをいやがるせいかプリント等の名前の未記入が多く度々注意します。タブレットは便利ですがノートをまとめる。日記を書く。など書き取り以外の字を書く習慣がつくような宿題をだしてもらえると嬉しいです。</p>	<p>タブレットを活用して学ぶ機会は増えましたが、実際に紙と鉛筆を使って、自分の考えを書いたり、資料の内容をまとめたりする活動は、授業の中でも大切にしています。</p> <p>また、家庭学習では、学年に応じて「漢字の書き取り」だけではなく、自主勉強ということで、それぞれの子どもが興味・関心をもった内容の学習を進めています。そこでは感想や疑問等、自分の考えを書く機会となりますので、継続することで書く習慣が身に付くことにつながればと思っています。</p>
<p>本人、毎日楽しく学校に通わせて頂いております。中々難しいですが、集団生活の楽しさみたいな所を教えて頂けますと幸いです。</p>	<p>本年度は、異学年との交流遊びをしたり、本校を卒業した中学生が、子どもたちの授業の補助をしたりと、集団や異学年が触れ合う機会を増やしました。そこでは中学生も小学生も学びの楽しさを味わうことができました。今後も計画的に多様な集団で活動する機会を設定していきます。</p>
<p>いつもご指導ありがとうございます。毎日楽しく学校に通っています。これからもよろしくお願いします。</p>	
<p>お世話になっております。先日息子が、ふと「お母さん!ばくね嬉しいことがあるの。」と話してきました。それは、朝校長先生が外で挨拶してくれてる事だそうです。「暑いなあ…ランドセル重いなあ…」など息子なりに朝気持ち沈みながら登校する日もあるようですが校長先生が暑い日でも大きな声で挨拶してくれてると「ばくも頑張ろう!」という思いになるそうです。この話を聞いた時に親として温かな気持ちになりました。学校で勉強だけではなく、先生がお手本となって指導してくださっていることに感謝申し上げます。</p>	
<p>昨年度に比べ、子どもたちが安心して楽しく落ち着いた学校生活を過ごすことが出来るように先生方が指導してくれているのが子どもからの話でも伝わっております。また、学校生活のブログも頻繁に更新していただけるので、子どもたちの様子もよくわかり感謝しております。今後も、お忙しいとは思いますが、ぜひ続けていっていただけると嬉しいです。</p>	